

工場分會は組織部統制の下に、宣傳委員會を組織し、毎月一回定期に次の如き方法を實行する。

(1) 日常闘争のストロークを中心題目とせるピラミッド作製して未組織労働者に配布し、或はボスターを工場乃至労働者通路に掲げる事。

(2) 此の日、宣傳委員は一箇に組合案内書其の他を携へて各職場を巡りて勧誘し、登録する事。

以上

臨時雇傭制度撤廃之件 (川崎支部提出)

〔決議案〕 資本家階級がその没落を免れんとする焦燥なる一切の努力はことごとく労働階級の上に転へられざるを得ざるが、金産産業に於て最も甚しきは臨時雇傭制度にある。資本家階級は臨時雇傭制度に依り、不當なる解雇を合法化して解雇手當を支給を免れ、斯くて賃銀の

切り下げ時間の延長等労働条件の低下を容易ならしめ、其の結果労働階級を労働者に不斷に失業の憂に與へ絶大な生活不安に陥れしむるが、臨時雇傭制度は、印を捺印することによって依りて臨時工、本雇労働者と間に早屈する差別をもうけ、或は本雇に昇級せんとするが、希望を持たせることに依りて労働組合に團結せしむるに便しめ、斯くていよいよ資本家の意のままに搾取を便し、今東京附近の金産工場に就て見ると、芝浦、石川島、淺野造船、日本鋼管、富士電氣、横浜ドック、浦賀ドック等の代表的工場は悉く此の悪制度を採用してある。

我等は次の手段によりこの暴悪なる臨時雇傭制度の撤廃のために関はなすべし、

〔實行方法〕

一、機関紙、横説會、研究会及び其の他集會に於て臨時雇傭制度の労働者に及ぼす被害を不遺に知らしむる